



同時発表：内閣官房

令和4年10月28日
観 光 庁

『インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ』の決定について

本日、観光立国推進閣僚会議（主宰：内閣総理大臣）の第17回会合を持ち回りにて開催し、「インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ」を決定しました。

インバウンド消費5兆円超の速やかな達成を目指し、関係省庁の施策も総動員して集中的な取組を実施してまいります。

○本政策パッケージでは、

- ① 特別な体験の提供
 - ② 大自然の魅力を活かした新たな体験の提供
 - ③ イベントをフックとした誘客の促進
 - ④ 戦略的なプロモーション、CIQ等の受入環境整備
- の4つの柱を掲げております（詳細は添付資料をご覧ください。）。

○インバウンドの本格的な回復に向け、日本各地の魅力を全世界に発信する「観光再始動事業」をはじめ、関係省庁の施策も総動員して集中的な取組を実施し、円安のメリットを活かして、インバウンド消費5兆円超の速やかな達成を目指してまいります。

（添付資料）

別紙：「インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ」

※「インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ」は、以下内閣官房ホームページにおいても公開しております。

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kankorikkoku/kettei/siryou13.pdf>

○問い合わせ先

国土交通省観光庁観光戦略課

田代、荒井、四俵、松本

（内線 27202, 27203, 27210, 27213）

電話：03-5253-8111（代表）

03-5253-8322（直通）

F A X：03-5253-1691

内閣官房副長官補室 室屋

電話：03-5253-2111（代表）（内線 82447）

インバウンドの本格的な回復に向けた政策パッケージ ～観光再始動 Open the Treasure of Japan!～

○ インバウンドの本格的な回復に向け、日本各地の魅力を全世界に発信する「観光再始動事業」をはじめ、関係省庁の施策も総動員して集中的な取組を実施 → 円安のメリットを活かし、**インバウンド消費5兆円超**の速やかな達成を目指す

1. 特別な体験の提供

世界遺産姫路城の天守閣の限定公開など、全国津々浦々で特別な体験や期間限定の取組の提供を推進

- ・観光再始動事業【観光庁】
- ・高付加価値旅行者誘客支援【観光庁】
- ・歴史的資源を活用した観光まちづくりの促進【観光庁】
- ・日本博を契機とした観光コンテンツの拡充（日本博2.0）【文化庁】
- ・酒蔵ツーリズムの推進【国税庁】
- ・地域一体型ガストロノミー（美食）ツーリズムの推進【観光庁】
- ・地域の食体験コンテンツの造成・磨き上げ、一元的な情報発信【農水省】
- ・文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業【文化庁】
- ・日本遺産活性化推進事業【文化庁】
- ・三の丸尚蔵館の整備・収蔵品の地方展開【宮内庁・文化庁】
- ・正倉院関連イベント【宮内庁・文化庁】
- ・迎賓館における特別企画の実施【内閣府】
- ・デジタル田園都市国家構想交付金の活用【内閣府】 等



姫路城世界遺産登録30周年
天守閣等の限定公開（2023年・兵庫）

2. 大自然の魅力を活かした新たな体験の提供

アドベンチャーツーリズム^(※)等の新コンテンツ提供を推進。
国立公園等の取組も、夜間活用の促進など、もう一段深化

※自然と触れ合うアクティビティ等。2026年には世界で173兆円まで成長との予測あり
※出典：Allied Market Research

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・持続可能なコンテンツ造成等支援【観光庁】
- ・国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業【観光庁】
- ・国立公園満喫プロジェクト【環境省】
- ・官民連携による国立公園の魅力向上とインバウンド促進対策【環境省】
- ・官民連携等による地域観光等の拠点となる都市公園の整備等【国交省】
- ・地域のコンテンツ連携促進（長期滞在向け周遊ルートの形成支援）【観光庁】
- ・農泊の推進【農水省】
- ・サイクルツーリズムの推進【国交省】
- ・ガーデンツーリズムの推進による地域の活性化【国交省】
- ・国立公園における利用拠点再生促進事業（景観改善）【環境省】
- ・自然公園等事業等（展望台改修等）【環境省】
- ・民族共生象徴空間（ウポポイ）への誘客促進【国交省】 等



阿寒摩周国立公園での
夜間特別イベント
（2023年・北海道）

3. イベントをフックとした誘客の促進

観光×アート、スポーツ、テーマパーク関連イベントなどによる全国各地への誘客を促進

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・大規模国際スポーツ大会開催準備【スポーツ庁】
- ・アートの国際拠点化、国際的な芸術祭の活用【文化庁】
- ・国際会議及びインセンティブ旅行誘致向上【観光庁】 等



ジブリパーク開業
（2022年11月・愛知）

4. 戦略的なプロモーション、CIQ等の受入環境整備

日本の観光の再始動をSNSやテレビCM等も活用して戦略的に発信。CIQ体制の更なる高度化など受入環境整備を推進

<戦略的なプロモーション>

- ・観光再始動事業【観光庁】（再掲）
- ・戦略的な訪日プロモーションの実施【観光庁】
- ・外国人旅行者向け免税制度の利用促進【観光庁】
- ・地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援【観光庁】
- ・国際交流基金（JF）による地域の魅力の発信【外務省】
- ・「ジャパン・ハウス」を通じた多様な魅力の発信【外務省】
- ・コンテンツ海外展開促進・基盤強化事業【経産省】 等

<受入環境整備>

- ・受入環境整備緊急対策事業（キャッシュレス化、多言語化等）【観光庁】
- ・国際線の受入再開に向けた受入環境高度化等への支援【国交省】
- ・地方空港における国際線再開・増便等の促進【国交省】
- ・戦略的な査証緩和、査証審査の体制整備等【外務省】
- ・円滑な出入国管理の実現（イミグレーションアテンダントの配置）【入管庁】
- ・相互事前旅客情報システム（iAPI）の導入【入管庁】
- ・地方空港における検疫業務実施体制の整備【厚労省】
- ・円滑な入国に向けた税関体制整備【財務省】
- ・面的地域価値の向上・消費創出事業（商店街）【経産省】 等